

首席研究者 / 次席研究者の役割

深海調査研究推進委員会
深海調査研究計画委員会

1. 選 定

首席研究者及び次席研究者は、深海調査研究実施計画調整部会で推薦し、深海調査研究計画委員会で指名され、JAMSTEC 理事会の承認により決定される。

1) 首席研究者

- ・調査航海において調査研究の円滑な遂行を統括する者とし、原則として、採択された研究課題の代表提案者の中から計画委員会が指名する。

2) 次席研究者

- ・首席研究者を補佐する者とし、採択された研究課題の実施にとって、適任と思われる研究者。

2. 首席研究者の任務と権限

1) 航海前

調査研究実施計画の作成（以下のものが含まれる）

- ・全体研究計画（研究分担者、陸上研究者も含む）
- ・関係する研究者の構成
 - ・使用研究機材
 - ・その他必要事項

作業日程案の作成

研究支援部との調整

必要に応じ、研究計画事前打合せ会の開催

2) 航海中

調査研究実施計画の実施

- ・ JAMSTEC の定める「データ/サンプル及び成果の取扱い方針」(暫定)に沿って、乗船研究者および陸上研究分担者へ試資料を分配する。
- ・ 調査日程を調整する。
- ・ 調査総括責任者への日報による報告を行う。
- ・ 研究者及び観測技術員への指示を行う。
(添付 - 1 観測技術員の役割について 参照)
- ・ 研究者と船側、運航要員並びに観測技術員との連絡調整を行う。
- ・ オンボード/クルーズレポートを作成する。
- ・ 船長の職務権限に基づく乗船研究者等への指示、命令に従うこと並びに乗船研究者へ指示・命令を徹底する。
- ・ 事故、トラブル発生時の研究続行に係わる事項を JAMSTEC へ報告する。
- ・ その他調査研究実施に関わる調整を行う。

3) 航海後

調査研究実施計画の報告

- ・ 深海調査研究計画委員会へ「調査航海概要報告」(電子ファイル)を速やかに提出する。
提出された「調査航海概要報告」は深海調査研究の成果のとりまとめとして公表する。(A4版4枚まで、トピックス、写真を含む)
(添付 - 2 JAMSTEC 深海調査研究 調査航海概要報告の公表 参照)
- ・ 「オンボード/クルーズレポート」を提出する。(下船後、1ヶ月以内)
- ・ 「しんかいシンポジウム」において発表を行う。
- ・ 乗船研究者/陸上研究者に対して「しんかいシンポジウム」での発表を徹底し、学会誌等への投稿を勧奨する。
- ・ 研究成果を JAMSTEC へ報告する。
(データ/サンプル及び成果の取扱い方針(暫定) 参照)

3. 次席研究者の任務と権限

- ・ 首席研究者の任務を補佐し、必要な場合は首席研究者の任務と権限を代理する。

4. 任務の遂行

複数課題を1つの Leg として実施する場合において、計画委員会から指名された首席研究者及び次席研究者は、Leg を通じてそれぞれの任務を行う。

添付 - 1 : JAMSTEC 深海調査研究における観測技術員の役割について

添付 - 2 : JAMSTEC 深海調査研究 調査航海概要報告の公表

JAMSTEC 深海調査研究における観測技術員の役割について

独立行政法人海洋研究開発機構

JAMSTEC 深海調査研究航海において乗船した観測技術員は、下記の役割を遂行する。

1．観測技術員の位置づけ

JAMSTEC は、深海調査研究各航海に可能な限り調査観測目的に精通した観測技術員を基本的に一名乗船させ、以下の 2．の業務を行わせる。なお航海中は、首席研究者の指示のもと業務を遂行する。

2．観測技術員の業務

深海調査研究航海に乗船する観測技術員の業務は以下の通りとする。

- (1) JAMSTEC が示す「データ / サンプル及び成果の取扱い方針」(暫定) に基づき、首席研究者をサポートし、データ / サンプルの管理・記録を行う。

船上において、当該調査研究で取得したデータ / サンプルを首席研究者の了解のもと乗船研究者に提供する。

データ / サンプルの配布先及び、インベントリーを記録する。

必要に応じてデータ / サンプル取得のための補助を行う。

- (2) クルーズレポート取りまとめのサポートを行う。

クルーズレポート作成に当たり、JAMSTEC が決めた諸項目を首席研究者に提示し、首席研究者が作成したクルーズレポートが必要項目を網羅していることを確認する。

前項のデータ / サンプルのインベントリー情報をクルーズレポートに掲載する。

首席研究者を補佐し、乗船研究者が作成するクルーズレポートのための原稿を取りまとめる。

- (3) 首席研究者と連絡調整を行い、各航海に関わる JAMSTEC 並びに乗船研究者との事前打ち合わせ、乗船研究者が行う機材搭載、及び機材陸揚げに関わる作業と必要に応じてこれらに先立つ準備の補助を行う。

- (4) 当該船舶に装備された実験室設備の維持管理や、乗船研究者への使用方法の説明を行う。

- (5) その他、首席研究者の指示のもと、調査研究航海を円滑且つ安全確実に遂行するために必要な業務を行う。

JAMSTEC 深海調査研究
調査航海 首席研究者 殿

独立行政法人海洋研究開発機構

深海調査研究による調査航海概要報告の公表

平素より、JAMSTEC 深海調査研究にご協力いただきありがとうございます。

平成 16 年度より諸般の事情により、深海調査研究の成果・動向などを知る上で非常に重要であった報告書「JAMSTEC 深海研究」は廃刊となりました。しかしながら、

- ・ JAMSTEC 深海調査研究の成果のとりまとめ
- ・ JAMSTEC 深海調査研究の科学研究への貢献

などを、きちんとした形で残すことは今後の深海調査の将来展開を含めて極めて重要なことだと認識しております。そこで、これまで皆様に航海後にご提出いただいていた調査航海概要報告を冊子等として公表しようと考えております。つきましては下記要領をご参照の上、「JAMSTEC 深海調査研究 調査航海概要報告」を事務局宛にご提出いただきますようお願い申し上げます。

JAMSTEC 深海調査研究 調査航海概要報告 記入要領

- ・ 航海終了後、1 月以内に事務局宛 shinkai@jamstec.go.jp に電子ファイルで提出
- ・ 様式は別途参照
- ・ 冊子等として公表される予定なので研究上の confidential 事項については記載する必要はありません。
- ・ 最大 A4 サイズ 4 ページまで（図表等を含む）

JAMSTEC 深海調査研究 調査航海概要報告 記入様式

提出日平成 17 年 月 日

JAMSTEC 深海調査研究 調査航海概要報告

1. 航海番号 / レグ名 / 使用船舶
2. 研究課題名（提案者：所属機関：課題受付番号）
3. 首席研究者（所属機関）
4. 乗船研究者
5. 調査海域
6. 実施期間
7. 調査航海概要（目的、背景、実施項目や手法、わかったことなど焦点を絞り明確に記入してください。研究上の confidential 事項について記載する必要はありません）